

名古屋大学エネルギーマネジメント研究・検討会
平成 26 年度 エネルギーに関する文理融合研究合同成果報告会

第 10 回 名大発一省エネ推進と地球温暖化防止

名古屋大学では、2014 年度をゴールとして、CO₂排出削減目標 (20%削減) 達成を目指しています。

そのアクションプラン実現のために建物省エネ診断、エネルギー使用の「見える化」等、より高度な省エネ技術の具体的方策を提案・検証することによって、総合的なエネルギーマネジメントの方向性を検討してきました。

今年で 10 回目を迎える研究成果報告会では、大学の教育研究の成果を背景にして省エネ・二酸化炭素削減を考えるエネルギーマネジメント研究・検討会 (EM研) の活動を始め、他大学 (東京大学、同済大学) の多様な活動事例を報告し、参加の皆様と共に、社会の二酸化炭素削減の具体的施策を考えていきます。ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

開催日時： 平成 27 年 3 月 10 日 (火) 13:00-17:30

会場：名古屋大学 I B 電子情報館 大講義室
地下鉄名城線名古屋大学駅 3 番出口直結

研究成果報告：エネルギーマネジメント研究・検討会

【 プ ロ グ ラ ム 】

13:00-	報告会開催にあたって	竹下 典行 (施設設備・環境安全担当理事)
	「省エネルギー対策と施設管理」	新保 昌人 (文部科学省大臣官房文教施設企画部参事官付参事官補佐)
	「中国・アメリカにおけるグリーンキャンパスの動向」	譚 洪衛 (上海・同済大学)
	「東京大学 n ZEB 棟の紹介」	大岡 龍三 (東京大学)
	《 休 憩 》	
	「名古屋大学の省エネ推進活動」	奥宮 正哉 (環境学研究科) 袴田 満明 (施設管理部施設管理課) 杉本 裕康 (施設管理部施設管理課)
	「理学・農学系建物のベース電力構成要素に関する調査報告」	田中 英紀 (施設・環境計画推進室)
	「大学における節電行動促進手段の検討—名古屋大学を事例に—」	熊崎 聖大 (情報文化学部学生) 松井 大河 (情報文化学部学生) 松野 元哉 (情報文化学部学生)
	「個別分散空調の新しい制御による省エネルギー効果の検証」	澤村 茂貴 (環境学研究科大学院生)
	《 休 憩 》	
	質疑応答、パネルディスカッション、まとめ	
	閉会の辞	小松 幸雄 (施設管理部)

報告会終了後、17:30 よりレストラン ユニバーサルクラブで《 意見交換会 》を開催します。

主催：名古屋大学エネルギーマネジメント研究・検討会

申込先：名古屋大学施設管理部施設企画課総務掛 村瀬 sis-sou@adm.nagoya-u.ac.jp